

ほのぼのだより

1月の手話は「お正月」です。

『お正月』は、東 くめ 作詞、滝 廉太郎 作曲による日本の唱歌です。1900年に編纂された『幼稚園唱歌』で発表され、長く歌い継がれています。
ひとつひとつの手話に意味もあるので、その意味や由来をゆっくり伝えていきたいと思います。
また、歌に出て来るお正月遊びのコマ回しや羽根つきなども十分楽しみたいです。

1番

① もう いくつ



親指から順に折って
数を数えるしぐさ

② ねる



ねむるしぐさ

③ と



手のひらを前に向けて
立て前方へ押し出す

④ おしょうがつ



人差し指を前に向け右手を上、左手を下に
出し振る様にして指先を左右へ向ける

⑤ おしょうがつ

④と同じ

⑥ には



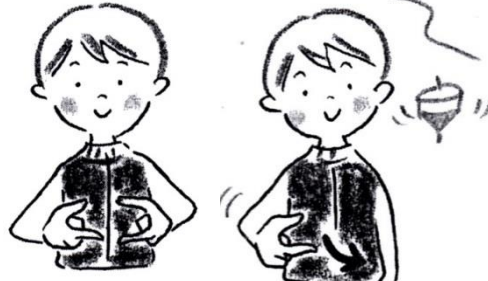
左手の指先を前に出す右手親指を左手につ
け人差し指を前ボから下に回し下げる

⑦ たこあげて



左上に左手の甲をまえに、右手の人
差し指でさし、そのまま右へ動かす

⑧ こまを まわして



親指と人差し指で丸を作り右手
はそのままの形で左下にふる

⑨ あそびましょう



頭の横に人差し指をたて
左右交互に前後させる

⑩ はやく



つまんでいた親指と人差し指
を開きながら左下へ動かす

⑪ こいこい

⑫ おしょうがつ



④と同じ

2番

⑬ もういくつねると
～おしょうがつには

①～⑥と同じ

⑭ まり



手首と指先をつけ
て球の形を作る

⑮ ついて



ボールをつくしぐさ

⑯ おいばね



左手は羽根をつまむしぐさ
右手は下からつくしぐさ

⑰ ついて



頭の上で羽根を
打ち返すしぐさ

⑱ あそびましょう
～おしょうがつ

⑨～⑫と同じ



民衆社

「手話でうたう日本の童謡・唱歌ベストアルバム」参照